

研究機関：広島大学

研究課題名	前十字靭帯再再建術の術後成績に影響を与える因子の検討
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科整形外科学 教授 安達 伸生
研究期間	2022年4月19日(倫理委員会承認後)～2024年3月31日
対象者	2002年4月から2021年12月の間に、広島大学病院整形外科で前十字靭帯再再建術を受けた患者さん。
意義・目的	スポーツ活動の普及に伴い、前十字靭帯損傷の頻度が増加し、それに伴い前十字靭帯再建手術も増加しています。前十字靭帯再建術の術式・術後リハビリは日々進歩していますが、それでも術後の再損傷が一定数(5%程度)存在します。そのような患者さんには、再再建術が必要になりますが、移植する腱・再建方法についてはさまざまな報告があり、一定の見解がありません。当院で行った前十字靭帯再再建術を調査することで、今後の治療方法の成績向上につながると思われます。
方法	本研究は、診療録(カルテ)情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は身長、体重、性別、膝関節理学所見、画像所見、手術記録です。 (個人を特定可能な情報は解析に用いません)
共同研究機関	ありません
試料・情報の管理責任者	広島大学医系科学研究科整形外科学 教授 安達 伸生
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞1-2-3 Tel: 082-257-5232 広島大学病院整形外科 助教 亀井 豪器